

日本遺産「北前船寄港地・船主集落」への認定について

☆このたび、文化庁が認定した日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に、新潟県村上市、岡山県岡山市、そして美浜町が追加認定を受けました。

○日本遺産とは？

- ・地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして、文化庁が認定する制度。国内の歴史的遺産の保存活用による地域活性化を目的とする。
- ・104事業が日本遺産として認定。
- ・県内事例：「#005 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 御食国若狭と鯖街道」（小浜市、若狭町）
「#050 きっと恋する六古窯 日本生まれ日本育ちのやきもの産地」（越前町）
「#071 400年の歴史の扉を開ける旅 石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井」（福井市、勝山市）
「海を越えた鉄道 世界へつながる鉄道のキセキ」（南越前町、敦賀市）



○日本遺産「北前船寄港地・船主集落」とは？

- ・正式名：「#039 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落」
- ・認定年：2017年
- ・認定自治体：49自治体 ※うち、福井県内4市町（三国、南越前、敦賀、小浜）
- ・活動団体：北前船日本遺産登録推進協議会 ※認定49自治体で構成、観光振興、地域活性化の両面で様々な取り組みを行う。
（一社）北前船交流拡大機構 ※北前船ブランドを通じた地域間交流拡大を目指す民間団体
（一社）地域連携研究所 ※北前船交流拡大機構の兄弟法人。より広く地方・地域同士が直接連携し、活力を生み出すことを目指す連携団体。

○認定の経緯と経過

美浜町早瀬や久々子などは、江戸～明治時代には北前船交易の拠点として繁栄した歴史をもつ。遠く島根県浜田市の清水家が所蔵する『諸国御客船帳』には、早瀬や和田を拠点とした北前船との交易記録が詳細に記されている。また、早瀬には北前船主をルーツとする家や江戸時代から続く酒蔵などの古民家、港町の区割りが残り、北前船寄港地・船主集落としての景観を今も残している。

【令和3年度】

- ・（一社）北前船交流拡大機構及び敦賀市より、（一社）地域連携研究所自治体会員として入会の打診を受ける（その後入会）。
- ・令和4年3月、「（一社）地域連携研究所自治体会員制度発足式」、「第30回北前船寄港地フォーラム in 秋田」に参加。

【令和4年度】

- ・北前船関連の史実や歴史的遺産を美浜町のまちづくりと観光に活用していくことをめざし、美浜町早瀬地区等における北前船関連調査に動き出す。認定に向けた構成文化財調査を開始(～令和5年度)。
- ・5月、「(一社)北前船交流拡大機構 結成6周年記念」及び「(一社)地域連携研究所 自治体会員制度発足記念」祝賀会へ参加。
※北前船交流拡大機構から五木ひろし氏(当町出身)に「北前船大使第1号」が委嘱される。
新曲『北前船／港町恋唄』を披露。
- ・8月、北前船日本遺産認定に向けた有識者会議設立。
※調査結果を踏まえた申請内容、活性化計画の検討。
※有識者会議メンバー：河原 典史 氏(立命館大学教授)
多仁 照廣 氏(若狭路文化研究所所長)
金田 久璋 氏(美浜町文化財保護委員会委員)
- ・9月、北前船交流拡大機構事務局が来町。構成文化財の現地確認。
※同事務局との申請内容、活性化計画の内容協議(文化庁との事前協議も含む)
- ・10月、歴史文化館企画展「千歯扱き」開催。
※全国への分布調査を実施。

【令和5年度】

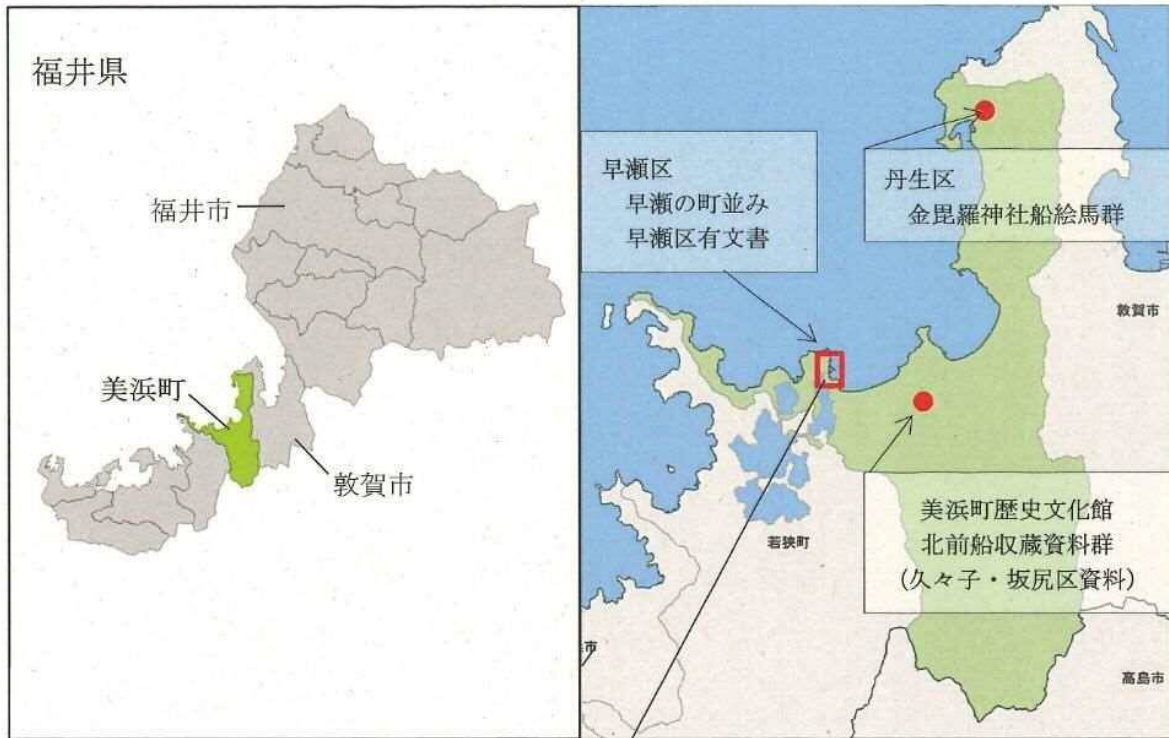
- ・PRチラシの作成及び配布。
- ・歴史講座「美浜の船絵馬」、「美浜に行き交う北前船」を開催。
- ・令和6年2月、歴史文化館において企画展「みはまに残る北前船の波跡」を開催。
- ・北前船PR動画を作製。道の駅はまびより、レイクセンター等で上映(観光誘客課)
- ・令和6年2月末、文化庁へ追加認定申請。
※新潟県村上市、岡山県岡山市も同時申請

○今後の予定と取り組み(案)

- ・町役場に「祝 日本遺産認定」懸垂幕を掲示。
- ・6月28、29日「第34回 北前船寄港地フォーラム in くしろ・北海道」
※初日開会式内において、文化庁より追加認定市町に認定証の授与。
- ・文化財保護の取り組み
※構成文化財の更なる収集・保存、調査・研究、展示・公開
※構成文化財の町文化財指定等
※構成文化財の紹介パンフレット作成及び配布
- ・認定記念事業の実施
※認定記念講演会(フォーラム、シンポジウム等)の開催
※認定記念企画展等の開催

☆日本遺産のストーリーをまちづくりや地域づくり、観光振興に活かして地域活性化に取り組みます。

市町村の位置図（美浜町）・構成文化財の位置図



早瀬区拡大図



早瀬区町並みエリア拡大図



11 早瀬 船主集落の町並み



15 早瀬区 常夜灯

ストーリーの構成文化財予定一覧表

No.	名称	指定等	ストーリーの中の位置づけ	所在地
1	きたまえぶねのぼりばた 北前船幟旗	未指定 (工芸品)	坂尻の船主家に伝わる船の幟旗。 55 cm×313 cm	福井県美浜町
2	こんびらじんじやのぼりばた 金毘羅神社幟旗	未指定 (工芸品)	坂尻の船主家の敷地内に祀られる金毘羅神社の幟旗。①と同じ船名入り	福井県美浜町
3	ふなえま 船絵馬	未指定 (工芸品)	久々子の船主が明治 39 年（1906）に大阪絵馬藤に描かせたもの。自身が歴代所有した 3 隻の船が並べて描かれている。	福井県美浜町
4	ふなだんす 船筆筒	未指定 (工芸品)	久々子の船主所蔵のもの。③と所蔵者同じ。	福井県美浜町
5	ほういじしん 方位磁針	未指定 (工芸品)	久々子の船主（③④と同じ）所蔵。「敦賀郡三島住嘉道野利七藤原重道」の銘があり、敦賀の船頭から譲り受けたといわれている。	福井県美浜町
6	きたまえぶねわかんれんもんじよ 北前船関連文書	未指定 (歴史資料)	美浜町久々子の船主所蔵。③～⑤と所蔵者同じ。海員名簿（明治 36 年～）、船舶運転士免状（明治 31 年）、門司税関の許可書等。	福井県美浜町
7	かいしんず 海深図	未指定 (歴史資料)	久々子の北前船主が所蔵していたもの。明治の大阪の銅版画家「響泉堂」「若林春水堂」等が作成したもの。③～⑥と所蔵者同じ。	福井県美浜町
8	さきじんじやござぶね 佐支神社御座船	未指定 (工芸品)	久々子の佐支神社に奉納された御座船。③～⑥の船主が神社改築の際に自身の船「宇波西丸」を模して作らせたもの。	福井県美浜町
9	せんめいふだ 船名札	未指定 (工芸品)	早瀬の船主所蔵のもの。同家の船が松前から島根・外の浦まで寄港していた記録がある。	福井県美浜町
10	かいじょうあんぜんきふだ 海上安全木札	未指定 (工芸品)	早瀬の船主所蔵（⑤と同じ）。山形・龍澤山善宝寺のもの。	福井県美浜町
11	早瀬 船主集落の町並み	未指定 (伝統的建造物)	早瀬区は若狭湾に面し、近世の港町の区割りが残る。船主の屋敷や江戸末期建築の寺院、造り酒屋などの建築が見られる。	福井県美浜町
12	わたなべひろこ 渡辺弘子 ぬのえ 布絵ミュージアム きたまえぶねしゅうりょう 北前船収蔵資料	未指定 (工芸品)	北前船主の子孫に伝わった古文書や船筆筒、方位磁針などの資料。	福井県美浜町

13	ひよしじんじや 日吉神社 ほうのうらもげいせん 奉納模型船	未指定 (工芸品)	日吉神社は寄港地・船主集落として栄えた早瀬に所在する。船主たちからも信仰を集め、境内に北前船を模した模型船が安置されている。	福井県美浜町
14	ひよしじんじや 日吉神社 ひきやま 曳山・神輿	未指定 (工芸品)	曳山・神輿は日吉社の祭事である子供歌舞伎・水無月祭でそれぞれ用いられ、曳山建造時の記録や神輿に祀られる神鏡に寄進者として船主や廻船問屋の名が記される。	福井県美浜町
15	はやせく 早瀬区 じょうやとう 常夜灯	未指定 (工芸品)	早瀬区内の高台に祀られる石造の常夜灯は 19 世紀に建立されており、海上の船からの目印となっていた。	福井県美浜町
16	はやせく 早瀬区 きたまゑがねのいもんじよ 北前船関係文書	未指定 (工芸品)	船改、水夫の申合せ書、難船記録など、180 点を超える区有文書。	福井県美浜町
17	じゅうこんびらじんじや 丹生金毘羅神社 えまぐま 絵馬群	未指定 (工芸品)	若狭地方の海運業者の信仰を集めており、美浜町寄贈分も含めた船絵馬、その他の絵馬等が奉納されている。	福井県美浜町

構成文化財の写真一覧



1 北前船幟旗



2 金毘羅神社幟旗



3 船絵馬



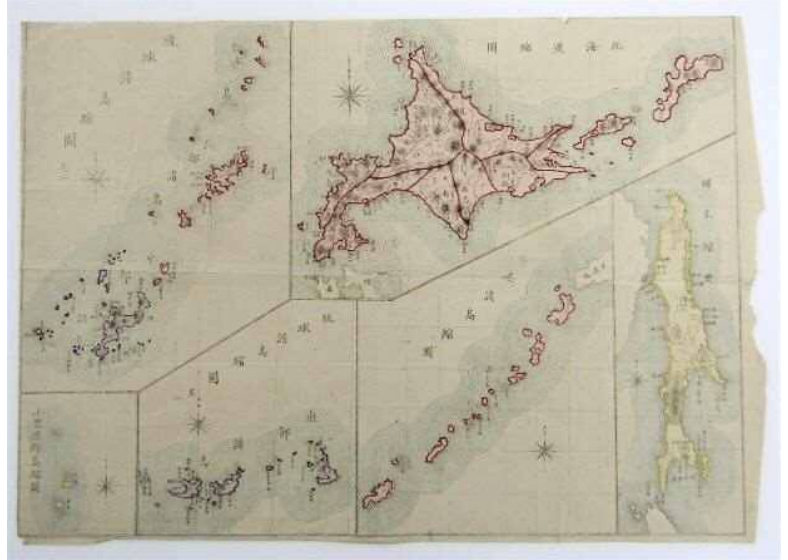
4 船筆筒



5 方位磁針



6 北前船関連文書



7 海深図



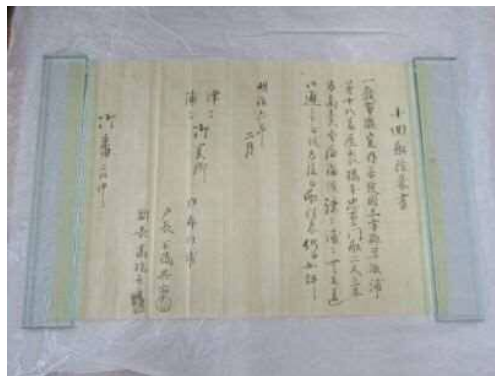
8 佐支神社御座船



9 船名札



10 海上安全木札



12a 船往来



12b 船箆筒

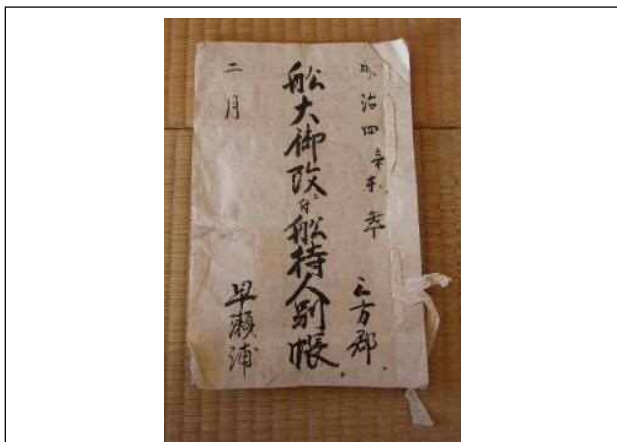
12 渡辺弘子布絵ミュージアム北前船収蔵資料



13 日吉神社 奉納模型船



14a 子供歌舞伎・曳山



16 a 船大御改ニ付船持人別帳



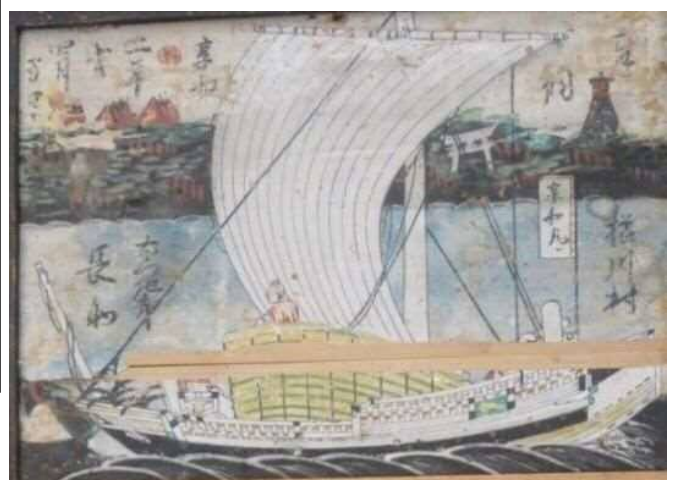
14b 水無月祭・神輿

14 日吉神社曳山・神輿



16b 仲間申合一札之事
(博奕・酔狂ニ付廻船仲間約定)

16 早瀬区北前船関係文書



17 丹生金毘羅神社 船絵馬群